カラダに膿ができたら

膿(のう)は"うみ"のことです。

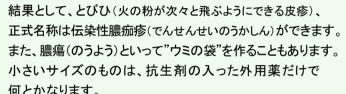
細菌感染が原因です。

気温が高くなってくると、汗をかきます。

汗疹(かんしん、あせものこと)ができて、

皮膚の上に静かにしているブドウ球菌や

化膿性レンサ球菌が暴れ始めます。



ある程度から大きいサイズになったものには 抗生剤の内服が必要となります。

重症になると抗生剤の点滴をすることもあります。

漢方薬ならば、<u>排膿散及湯(はいのうさんきゅうとう)が使えます。</u> 小さな膿ならば消えてなくなります。

手指、爪にできた小さな傷から膿ができることがあります。 こういう小さな傷からの感染は早目にキチンと対処しないと、 後からの処置が大変になります。

敗血症を起こして全身状態が 悪くなった例もありますから、 なめてはいけません。



予約システムが変わります

2015年5月11日(月)から、予約システムが変更となります。 従来は電話予約でしたが、インターネットによる予約になります。 パソコンあるいは携帯電話・スマートフォンからインターネットで 診療・予防接種の予約がとれます。

受付・外来の廊下にあるポスターのQRコード、 あるいはなかしまこどもクリニックの ホームページ(http://www.n-kodomo.com/)上の QRコードから予約画面に行けます。



現在はサイトの登録のみとなっています。 5月11日(月)から予約可能となります。 5月末日までは従来の予約電話の回線はつながりますが、 音声案内のみで予約はとれません。 よろしくお願いします。

お知らせ

なかしまこども健康セミナー開催のお知らせ

5月23日(土)13:30~ 院内にて

テーマ:「夏に使える漢方薬」

※参加は無料です。お子さまと一緒に来ていただいても大丈夫です。

小児夜間急病センター当番日

5月15日(金) 19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院

